

まちのスケッチブック

泉佐野発>日本一の「ひとづくり」のまちへ

VOL.36

平成16年度

決算特別委員会

ちよまつ ひろやす
泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (32歳)

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、私のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。
また、携帯電話からは登録できません。



平成16年度

決算特別委員会

11月8日(火)、9日(水)の2日間に渡って、平成16年度の決算特別委員会が開催されました。平成16年度の普通会計の決算は歳入が351億4,884万円、歳出が376億3,287万円、前年度に比べて、歳入で25億5,672万円、歳出で30億6,207万円の減少となっており、翌年度へ繰り越す3,330万円を除いた実質収支は25億1,732万円の赤字となっております。昨年度までの累積赤字が29億9,337万円でしたので、単年度(平成16年度)だけでは4億7,605万円の黒字であります。

歳入で前年度に比べて、地方交付税2億1,000万円、地方譲与税で1億7,500万円、各種交付金で1億4,500万円が増加しましたが、地方債で9億1,200万円、地方税で6億2,600万円、国庫支出金で5億5,000万円が減少しました。平成16年度は、国の三位一体改革の初年度にあたり、国庫補助金の削減に対し、所得譲与税として1億6,100万円が移譲されました。また地方税では固定資産税の地価下落による時点修正により7年連続での減収となりました。他の自治体と違って市税収入の割合の高い泉佐野市にとっては、固定資産税の減収は例年大きな打撃となります。

11月8日(火)、9日(水)の2日間に渡って、平成16年度の決算特別委員会が開催されました。平成16年度の普通会計の決算は歳入が351億4,884万円、歳出が376億3,287万円、前年度に比べて、歳入で25億5,672万円、歳出で30億6,207万円の減少となっており、翌年度へ繰り越す3,330万円を除いた実質収支は25億1,732万円の赤字となっております。昨年度までの累積赤字が29億9,337万円でしたので、単年度(平成16年度)だけでは4億7,605万円の黒字であります。

泉佐野市はある雑誌の「行革度ランキング」で全国4位にランクされています。この行革度ランキングは、人件費などの人員を中心とした項目によって評価されており、こういったランキングはどこに焦点をあてるかで大きく順位が変動してきます。今回は人件費に主に焦点をあてた行革のランキングでしたが、それに財政部門の改革を加えた行財政改革では泉佐野市は全国1位になると私は思います。

三位一体改革や固定資産の評価変えの悪影響を受けている中、376億円の歳出規模の自治体が、その約13分の1にあたる30億円もの累積赤字を解消しようとしている自治体というのは泉佐野市くらいであると考えます。なぜ泉佐野市はこのような改革をしなければならぬのかと言いますと、3年前に泉佐野市は財政健全化計画を立て、これに基づいた様々な見直し、つまり事業の廃止や縮小を行なっているわけであり、この財政健全化計画は、大阪府からの貸付金などの金利を低減してもらったためのもので、財政健全化計画を全うすることによって累積赤字を

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
 1992.3 同志社香里高等学校卒業
 1996.3 同志社大学経済学部卒業
 1998.7 Lincoln University MBA 取得
 2003.3 大阪府立大学大学院修了
 2005.3 和歌山大学大学院修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 【議会】
 2003.3 予算特別委員長
 2003.5 市町村合併検討委員長
 2004.5 第61代副議長
 2005.5 厚生文教委員長
- 【現在】
 ■(社) 泉佐野青年会議所理事
 ■(NPO 法人) 大阪夢づくり協議会理事
 ■泉佐野市バレーボール連盟会長
 ■泉佐野市柔道連盟理事
 ■佐野中校区青少年指導員会幹事長
 ■同大アメフト部 OB 会常任理事
 ■自由民主党泉佐野支部政務調査会長

平成16年度目的別歳出決算		
	支出額	構成比
議会費	3億1,492万円	0.8%
総務費	36億4,872万円	9.7%
民生費	110億2,963万円	29.3%
衛生費	39億4万円	10.4%
労働費	3,981万円	0.1%
農林水産費	2億1,958万円	0.6%
商工費	1億2,319万円	0.3%
土木費	52億9,514万円	14.1%
消防費	12億5,769万円	3.3%
教育費	27億3,005万円	7.3%
公債費	60億8,445万円	16.2%
前年度繰上充用金	29億8,937万円	7.9%
災害復旧費	27万円	-%
合計	376億3,287万円	100%

解消するというのが、大阪府との約束であります。財政健全化計画は当初のものでもかなり厳しいものでありましたが、昨年に始まった三位一体改革の影響によりかなり厳しいものに修正をいたしました。

こういった行財政改革の影には、市民の方々の大きな痛みがいつてきます。その批判を受ける理事者側、議会の苦悩ももちろん存在します。「行革や行財政改革の上位にランクされないような状態の泉佐野市に2年でも早く復活させなければならぬ」、私はそのように思います。

2日間の慎重審査の結果、決算特別委員会では最終日の採決において平成16年度の各会計歳入歳出決算の認定を可とすることとなりました。

活動報告(小学校視察①)

13校の小学校に「校門受付員」を配置してあります。2月に起こった寝屋川の小学校での教職員殺傷事件のあと、太田大阪府知事が「各小学校に警備員を配置する」といった施策を打ち出しました。この施策によって、小学校1校に



厚生文教委員会で、市内の5中学校を視察したとき、「生徒の非行防止には、小学校との連携も重視しながら児童生徒の非行防止に努めることがこれからは重要だと考えている。」との言葉を数校で聞きました。また泉佐野市内の各小学校施設はかなりの老朽化が進んでいます。そして児童の安全の確保というテーマも相次ぐ不審者の出現によって浮上しています。そういったこともあつて厚生文教委員会は、中学校視察に引き続き、市内12小学校(3年前に視察した大木小学校をのぞく)の視察を10月~11月に行ないました。

小学校視察で最初に目に留まるのが、「校門受付員」さんの存在であります。泉佐野市では今年の5月から市内

いる受付員さんは、地域から選ばれております。この施策の導入に関しては、「小学校だけでいいのか?保育所や幼稚園は?」といった議論がされました。しかし実際に小学校だけでも早急に対応できた点では良かったと思えます。今後は残された課題にも対応できる取り組みを考えていかなければなりません。

つき年間160万円の予算がつくことになりました(内訳は、大阪府と市町村が80万円ずつ)しかし年間160万円の予算では、警備会社の「警備員」を配置するには、十分な予算ではなく、各自治体ではそれぞれシルバー人材センターや地元自治会に委託するなど様々な対応を見せました。泉佐野市では、シルバー人材センターに委託していません。警備法の関係で、こういったケースは「警備員」という呼称が使えないみたいで、「校門受付員」となつたわけでありませぬ。

「最初は、戸惑いがあったが、キチンと仕事をしてくれるので、児童の安全面を考えたら効果が出ています。」といった各学校の反応でした。またシルバー人材センターの計らいで配置されて

第11回「かけはし」開催!

千代松大耕が市民のみならずと市政をつなぐ架け橋となるため、市政懇話会「かけはし」を開催しています。どなたの参加もOKです。お待ちしております!

日時 平成17年12月22日(木) 19:30~20:30
 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
 参加費 無料

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
 TEL 58-1708
 FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 メール chiyoma51@hotmail.com
 発行部数累計 416,500部 2005.12第36号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。